



3学期が始まり1ヶ月が経ちました。始業式の日、2学期の終わりに自分たちでピカピカに大掃除した保育室で、気持ちよく新しい年を迎えることが出来ました。登園してきた子どもたちは、持ってきた『ふゆのおもいで』を教師や友達に見せながら、楽しかった思い出を自分なりの言葉で伝えていました。未就園児へのプレゼントを通して、学年があがるのがだんだん分かり、「こんどくることりぐみさんに、かわいいのつくってあげよう。」と意気込んでいる姿も見られました。

ことり組の1月の様子をお伝えします。



たこつくり・たこあげ



みんなでいっしょにあそぼう！

今年の干支は「とら」です。とらの顔をモチーフにして凧作りを行いました。「とらさんは、どんなかおかな？」と教師が尋ねると、「ひげがたくさんはえてる！」「にこにこえがお！」「しましましている！」と、それぞれにとらを思い浮かべていました。セロハンテープをパーツの角に合わせて貼ることを意識し、ビニール袋と貼り合わせました。顔のパーツは一度置いてみて表情を考え、「こっちのほうがかわいい。」「こうしたら、こわいかおになる。」と表情の変化を楽しんでいました。耳のパーツは取れないように両面からテープで固定し、手で触って取れないか確認していました。

そして、自分の凧を持って、園庭で凧上げを行いました。最初は高く上がらなかった凧も、年中組の姿を見て、たくさん走ると高く上がることに気づき、友達と一緒に走ったり、教師と一緒に走ったりしながら、自分で作った凧を上げることを楽しみました。



セロハンテープをしっかりとって、とれないようにしましょう！

もっと、もっとたかくとばすよ！みててね！！



みてみてたかくあがったでしょ！



こま

3学期になり、2学期より独楽を回すのが上手になってきた子どもたち。教師が独楽の柄が入るようなドーナツ型の画用紙を乗せたり、シールを貼ったりして回してみると・・・「いろがきれい！」「おもしろい！」と釘付けになって教師の回す独楽を見ていました。その後、自分の独楽で繰り返し試していました。自分の独楽を回していると、シールには無い色が浮かび上がることに気づき、その色を予想するのが楽しくて、友達や教師と「なんのいろになるでしょうか。」「あかだとおもう！」「きいろだよ！」「みててね。」と色当てをしました。「なんだかマジックショーみたいだね。」と繰り返し独楽を回し色の変化を予想して楽しみました。



絵合わせ・スリーヒントゲーム・お手玉・パズル



りす組と一緒に正月遊びを行いました。自分でやりたい遊びや好きな遊びを見つけ、保育室を自由に往き来して遊びました。自然と学級を超えたかかわりあいが見られ、同じ場にいる友達と一緒にゲームをしたり、競い合ったりしながら、楽しみました。普段の保育から学級関係なく、今後も保育室を往き来し、かかわりが広がる場を作っていきたいと考えています。



おてだまをなげててでキャッチできるかな？

どっちがながくまわせるかな？まだ、まわっているよ！



いくよ！みててね！！



小さいお友達！！

未就園児さんにプレゼントを作りました。カラービニールに顔のパーツや型のパーツ（りぼん・りんごなど）を貼り、動物のパペットを作りました。「こうしたらかわいいとおもう。」「りぼんつけたら、よろこぶかな。」と未就園児のことを考えながら、思い思いに作っていました。当日は感染症対策の関係で、直接手で渡すことは出来ませんでしたが、パペットを並べた机越しに、未就園児さんが自分のパペットを手にする姿を見たり、嬉しそうに手にはめている姿を見たりしました。未就園児さんの嬉しそうにしている姿を見て、作った子どもたちもとても嬉しそうにしていました。

ちいさいおともだちが
よろこんでくれると
うれしいな♪



ゆきだるま

スポンジ筆を使って雪だるまを描きました。1月6日に東京でも雪が降り、「ふゆやすみのおもいで」にも「ゆきあそびした！」「ゆきだるまつくった！」と雪に触れる経験をしていた子どもたち。「ゆきだるまつくろうかな。」と教師が言うと大喜びで「やりたい！」とすぐにスモックに着替えていました。スポンジ筆の滑らかさや、白い絵の具のべっとり感を楽しみながら行いました。絵の具が乾くと、糊を使って手袋やブーツのパーツを貼り、雪だるまを温かくし、顔やボタンをクレヨンで描き、個性豊かな雪だるまが完成しました。子どもたちそれぞれに雪だるまのストーリーがあり、聞いてみると、なるほど！と思う部分が多々ありました。自分なりに表現することで生まれる、自分らしさを大切にしていきたいと考えています。

まるーく
まるーく



りぼん、てぶくろ、
ぼうし、ぶーつを
はいて・・・



かわいい
おかおにしよう！

ちいさいまるから、おおきまるへ
くるくる、くるくる・・・



保育室や廊下でたくさんのコーナーを作り、友達や教師との遊びが始まります。「こたつにはいって、みかんを食べたんだ！」「でんしゃにのって、ふくおかにいったんだよ！」「でんしゃがれんけつしたのをみたんだよ！」と、冬休みに経験したことをもとに、遊びの中で友達と場を作って、再現する姿が多くみられます。友達の遊びを見て、興味をもち「いれて。」と声を掛け、一緒に遊ぶ姿も見られます。ねこやうさぎの動物、お母さん、病院の先生、工事現場の監督、電車の運転手、ご飯屋さん、飛行機のパイロットなどなりきって遊び、友達や教師を自分の場に招待する姿も見られます。友達や教師とのかかわりの中で、言葉の伝え方や友達の気持ちなど、どうしたら友達は悲しい気持ちではなく、嬉しい気持ちになるのか、遊びの中で経験しているところです。友達が悲しい気持ちになった時、どうしたら嬉しい気持ちに変わるのか、考える時間を大切にしながら、友達と遊ぶことが楽しい、もっと遊びたいと思えるように、子どもたちの気持ちに寄り添い、必要な言葉を伝えていきたいと考えています。

こたつのなかは、あったかいんだ！はいりたい？



これはおふろです！
あったかいよ！！



かどとかどをくっつけて、
でんしゃが、だっせんしん
しないようにしましょう！



れんけつしました！
はっしやします！
お気を付けてください！

